

学友会 学友会の活動について

「学友会」は学生の課外活動組織で、学友会長（学長）の下、「体育局」「文化局」「大学祭実行委員会」から構成され、学生により運営されています。体育局、文化局では、各局所属のクラブ・同好会から選出された学生が局長・次長・局員となり、クラブ間の調整や取りまとめ、またイベントの企画や実施を行い、大学祭実行委員会では委員長・副委員長の他、会計や広報など機能別の役割担当が置かれ、学生による大学祭の企画・運営が行われています。

学友会組織をまとめ、運営方針の策定や調整をはかるために「学友会運営委員会」が置かれています。この委員会は、体育局長・次長、文化局長・次

長、大学祭実行委員長・副委員長、各学部学生部の教員から構成され、学生が議長となり、主にクラブ・同好会の新設・改廃・昇降格や学友会予算の運用・執行について協議しています。また、各クラブの戦績報告や、大学祭の企画の精査および実施報告、学友会施設について等、学生の課外活動に係る事項について総合的に議題に取り上げられています。

学友会はSCPと共に学生の代表とも言える組織です。学友会所属団体のみならず、学生生活をより良く過ごすための意見や要望がありましたら、各局長や委員長までお寄せください。

■学友会年間行事予定

4月	新入生オリエンテーションにて クラブ紹介(体育局・文化局)
5月	
6月	九十九祭(大学祭実行委員会) 社行会(体育局)
7月	北海道地区大学体育大会(体育局所属クラブ参加)
8月	全日本歯科学生総合体育大会 (体育局所属クラブ参加)
9月	
10月	
11月	文化週間(文化局) 球技大会(大学祭実行委員会)
12月	
1月	
2月	
3月	

体育局



体育局長
高木 賢太郎
(薬学部3年)

一年を振り返って

自分が体育局長になり、本格的に代替わりしたのは2010年の11月でした。代替わりして初めての定例会で人前で連絡事項を伝える時に緊張で、ひざが震えて、手のひらに汗をかいていたのを今でも覚えています。しかも、初の定例会で体育館の割り振りで大きく揉めて、とても大変な思いをしました。「体育局長は定例会のお知らせをしとけばいい、簡単な仕事」だと思っていましたが、大きな間違いでした。

これ以降も色々大変な事がありました。例えば、春にある部活の予算を決める各部活との面談や、300人以上いる新入生の前で部活紹介の進行役をしたりなどがありました。特に1年間を通して苦労したのが、体育局に関係のない苦情や要望も自分にくる事です。「何で自分が・・・。」と思う事がたくさんありました。

その他にも自分勝手な事を言う団体の話を聞いたり、色々大変な事がありましたが、見方を変えれば将来、社会人になって必ずある困難を一足先に経験できたと思えば、この1年間は無駄ではなかったと思います。学生支援課の方々にも助けてもらいながら、なんとか局長の任期を終えることができました。自分で望んでなった立場でも無く、苦労の多い大変な仕事でしたが、終わってみるとやって良かったと思いました。

色々相談に乗ってくださった学生支援課の方々やここまで支えてくれた人達に感謝します。今までありがとうございました。

文化局



文化局長
菅原 章弘
(薬学部3年)

文化局の1年を振り返って

自分達の代に主役が変わり2人の文化局員と共に、わからないことだらけでスタートしました。医療系の大学で、実習、私用があるなかで多くの助けをくれた2人には感謝しています。

月に1回の定例会では、大人数を相手に1人で話さなければいけなく、最初の頃は緊張すぎて顔は赤く、脇汗もので、定例会の日はグレー以外の濃い色の服を着るようにしていたほどです。

周りから見れば、「文化局の仕事といっても定例会だけだろう」と思われていると思いますが、定例会は実は一番楽なものです。それよりも、資料の整理、学園祭や文化週間の日程決め、それを巡っての学生支援課とのやり取りなど、今回このような立場になったことで、まとめる側の苦労を感じることができました。

文化局長での貴重な体験は、卒業して社会に出たときに役にたつかもしいないと思います。そしてなにより楽しかったです。

最後になりますが、今年一年の文化局を支えてくれた文化局員の3年生、各サークル、部活の方々、学生支援課の方々のみならず、ありがとうございました。

大学祭 実行委員会

九十九祭を振り返って



大学祭実行委員長
中村 友昭
(歯学部3年)

昨年、私は大学祭実行委員会の委員長に就任した際、個人的に一つの目標を立てました。それは、「九十九祭を北海道医療大学に関係する全ての人たちに興味を持ってもらえるイベントにする。」というものでした。

近年、本学の大学祭である九十九祭は、どこか部活に所属している学生達のためのイベントとして捉えられており、部活に所属していない学生達や教職員の方々の中には九十九祭期間中を連休

と考えている人も多く見受けられます。そこで、私はこの状況を打破したく、様々な新企画を試みることにしました。そして、その目玉となったのが前夜祭と花火大会です。年々人数が少なくなっている実行委員だけで、この新しき企画を運営できるか不安でしたが、前夜祭当日になると平日の放課後に開催したということもあり、これまで九十九祭に興味を持っていなかった学生、教職員の方々にも多く足を運んでいただきました。しか

し、同時に多くの反省も得られました。来年度はこの反省を活かして、より多くの方が親しみを持って九十九祭にしていきたいと思います。

最後になりましたが、今年度九十九祭開催にあたりご協力いただいた学生、教職員、企業の方々にご協力ありがとうございました。